

季節のはなし

1月のことを陰暦では「むつき」と呼びます。これは年の初めにお互いが、むつき合うことから起こつたともいわれています。

広報東白川

第97号

発行
岐阜県加茂郡
東白川村公民館
印刷
今井印刷所

昭和42年1月15日発行

迎春



木の株を起こし、土をけずる力強いブルドーザーの爆音が聞こえます。

新しい東白川村の新しい年は、こうした建設のひびきとともに迎えたのです。

“より豊かな村づくり”を目標に力を合せて頑張る年にしましょう。

スタートにあたり、いろいろな人たちの夢のある意見を特集してみました。

身近な行政を充実

村長 河田勘市

健康で明るい新春を迎えられたことを、皆さんともにお喜びし、昨年の村政発展のためのご協力に對し感謝しています。

一年をふりかえると、産業、経済ともに順調に伸びてきました。それは、十二

いくつかの希望に満ちた新春に、ひとつ初夢のような青写真を村の皆さんの前に広げて見たいと思います

それは、昨年十二月はじめ神田神社宮橋前で行なわれた、夢の林道開設起工式から始まります。この林道は宮橋の左側から入り、十ハクターの「成人の山」にのびる三百メートル近いものですが、十年経った植林が一人前の材木として搬出される道には、まだ早すぎ

この山の奥に秘められた夢の青写真をのべる前に、このような夢を抱かせた

収め、農林業あわせて生産性が向上してきました。これも、農業協同組合、森林組合の強力な指導があつてこそ、その効果が上つたものとして感謝に堪えません

産業の振興は、また、商工業の振興につながるものであり、ひいては、村政発展への基となるもので、本當に喜ばしいことです。消防団、青年団、婦人会、老人クラブ等、各種団体の積

もその素因をのべてみましょう。最近の急速な物質文化の発展は、予想以上の乗物ラッシュ、村でも一丁台を突破するのも間近となりました。ちよつとした合でも車がひしめきあい、

約が成立し、今年の七月に広場としてお目見得し、慰霊塔前もすつきりするところでしょう。場所が場所だけに、多額の経費を要するので、多目的用途を考えると、なければなりません。そこ

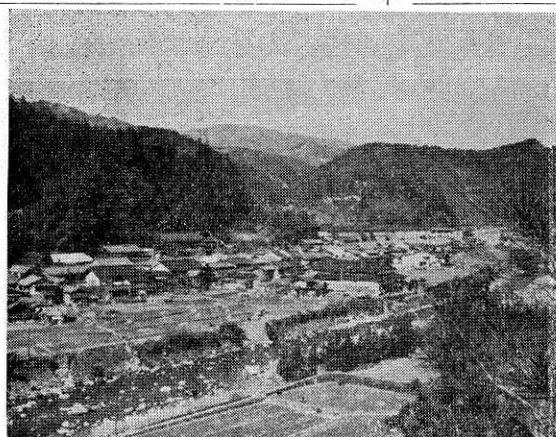
議長 田口 稔

私の考えた「夢の青写真」

役場の横の慰霊塔前が自動車置場となつて、心ある人々からご批判を受けてきました。役場前に広場をと等一応なしにして、まず、農協を近代的な鉄筋コンクリート二階建にして、階下は農協、商工、森林等の事

極的活動は、村政発展への大きな推進力となつたことも忘れてはなりません。

「健康にして、明るい村づくり」は、村の目標であつて、東白川病院の拡充整備によつて、医療、予防と教育、厚生の上発展に村が併行して、住民の健康管



（写真） 神土平付近一村は小さくとも気持は大きく豊かに伸ばしていこう

務所、階上は大ホール（小会議室にもなる）とし、日公民館も作り直す。これで、公民館も代用するわけですが、そんな頃、成人の山、上の段の広場にブルドーザーがあらはれ出し、見る／＼間にグラウンドを造つてしまひました。そのグラウンドの一角

体制を見るとき、東白川村の今日の姿を見ることで、感奮しています。現在の社会情勢から、社会保障制度は逐次改善され、よりよい環境づくりから、明るい社会となりつゝあることは本當にしなければならぬと思

この信念のもと、皆さんの意志に基づき、皆さんのしあわせのため精進したいと思つておこなつてい

と左側に林道の入口があり、足にまかせて、林道の奥に秘められた夢の青写真を見たい。入口から小川にそつて百メートルも行くと、小さな瀧の上を砂防えんていがあります。そして、そこにたまたま美しい湖、周囲の緑を写した山の池には、鱒や錦鯉が遊びます。池のほとりから右側の道を行つてみましよう。神田神社に通ずる道、宮の森の入口、拜殿の西側に木の香も新しいスマートな落付いた建物、今日、吉日にひびく雅楽の音、四海に波に結ばれる青春の夢、古式ゆかしい結婚式場です。

夢みたく話ですが、今年はそのスタートの年、一日早く青写真の実現を祈つてい



より組織の強化を

農協組合長 田口義吉

農業は織力をいつそう強化する必要があると思ひます。他の産業と比較し、そういつたことから、組とて、生産員は農協を中心と一段と性格差が、団結を固め、自主的、共同にありま、経済活動にまい進せねばならぬ傾向にありません。また、農協の役員は自からの体質強化と、事業推進に努力し、組合員に從事すの協力に促さなければなりません。私たちがの村では、流出する農業構造を各地域で実施、工事も着々進捗し、農家の生産意欲が盛りあがってきたことは喜ばしいことです。農協では、この振興計画にそう

よう、委託費を充分活かすため、まず一ヶ年ごとの施肥設計を、土壌型、作物別に合せ、また、営農計画についても二十二年の改良組合に座談会を開催し努力してきました。組合員と役員がひざつき合せて検討し、完全な計画によって営農に専念をいたさうというものです。結果、肥培管理の方全により大きく増産され、農業収入が拡大したことは村の農業振興発展の役割が果たせたことと思ひます。新しい年も、村の農業振興施策に呼応して、農協本来の使命を達成するという重大な責任のもとに、役員は努力をしたいと思います。昨年の事業を省みると、村の支援と、婦人部、青年部の皆さんの理解ある協力が大いなきさえとなりました。組合員の生命財産を守

教育長 安江又右工門

郷土百年を有意義に

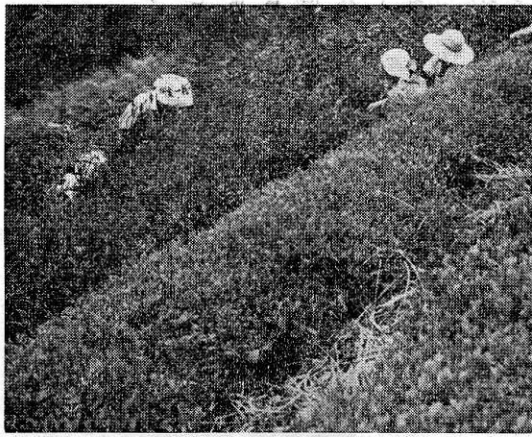
ことは、明治百年、わが国が近代国家に生まれかわつてから、ちょうど百回のお正月を迎えましたが、これは、東白川村にとつて最も重要な意義をもつています。といふのは、私たちの村は、明治維新の大業につゞく歴代令によつて、数世紀にわたりこの村の文化を開き、信仰の的であつた仏教が、一瞬にして失なわれ、仏の無い

村に生まれかわつたという史実が、今日のにも深い影響をもちつておられるからで、この東白川村の基を創り出した原動力となり、私たちの村民性として、いまも深く受けつ

た。このように形で私たちが訪れ、その当時、私たちの祖先は幾多の苦難の中で、他方本願から自力本願へと自らを厳しく律し

進歩的、進取的な風風を培い、精神的風土の改革をはかつたわけですから、これが、当時の東白川村の基を創り出した原動力となり、私たちの村民性として、いまも深く受けつ

ここに先年一何年茶園が育つてにみよ
す茶園が村のあちこちに誕生する
ような立派な茶園が育つてにみよ



り、補償する農協共済事業も当初五千万円の計画が一億円達成にもまじかになりました。組合員の貯蓄、農協金利用等、安心して明るく落ついた生涯にまた、教育文化の向上に努力をいただいたことは感激のほかありません。

私たちの学校を大切に

神土小六年 安江範子

私たちがよつてきている神土小学校は、だいに古い学校だ。よその学校などは、もう鉄筋だての学校にしてある所もあるし、まだ昔のまゝである学校もあります。だから私は、まだ鉄筋だての学校に作りなおさなくてもいいと思ひます。それは、私が中学になつても、高校にいつても、いつまでもこの学校が残つていればなつかしく思えるからです。私の意見とみんなの意見とちがうと思ひます。今までのこの学校がかわれないでたつてゐるのは、私たち全校が、大切にしてきたからだと思います。私たちのお父さん、おとうさんが、昔はもつとろうかなどはきかいたつたといひなるが、それは、私たちが生

れは、それだけこの学校が古くなつたということだと思ひます。私たちが中学生になつたとしても、今の五年生の人たちに今よりもつともつこの学校を大切にしたいと思ひます。もし鉄筋にたてなおすなら外見だけかえて、中のつくりや、こしかけなどは、そのまゝのほうがいいと思ひます。トイレもスイセンベんによしたほうがいいと思ひます。図書館にも本をたくさん入れてもらいたいと思ひます。

給食も、これからもつともつと栄養のある給食をつくつてもらいたいと思ひます。各教室にもテレビをおいてあつたらいいなと思ひます。

現実的な思考と、加えて、現代的、利己的な傾向が強まり、俗にいう新らしがりやで派手好み、ひとりよがりであきつばいこと等が、今日私たちが一般的な性格としてあげられていることは、祖先の遺志に反する残念なことといわなければ

なりませぬ。私たちはいま、郷土が生まれかわつて百年という意義ある年を無為におくることなく、現代のめざましい科学の発達と、物質文明の繁栄の中で、とくに精神文化の立ちおくれれていることに思いをいたし、後世百年

への新たな出発の年にしたいと思ひます。

(今年、この郷土足元百年を記念し、また、戦後の維新ともいふべき教育改

革による六・三制実施満二十年を記念して、いろいろな教育的行事を試みてみたいと思ひます。)

「日本人」の誇りを持とう

長寿会長 安江房吉

私たちの村は、どんなこととわれていることなど考とを主にして発展させるべきでしようか。

米、繭、茶、木材などの生産的方面には、いろいろあると思います。しかし、根本的にはまず私たちは「日本人である」ということを深く考えることが第一でしよう。次には「神の国」

すがる心を持たなければならぬと思ひます。

次には、国旗についてですが、国で決つてゐる祝祭日には、各戸に国旗を掲げることが、日本人である以上当然のことです。しかし私たちの村で忘れてゐる人はありませんでしようか。祝祭日には必ず国旗を掲げてほしいものだと思ひます。昭和四十二年は以上のことに気をつけたいと思ひます。

健康づくめられ
操一健す
体々す
がき着
みして
の歯
小はこ
土くり
くいて



（写真） 神土小六年 村雲滋子

もつともつと良い学校に

私は神土小学校がもつともつと良い学校に思ひます。それには、もつともつと良い学校にならばいいと思ひます。

みんなですけ合つていい神土小学校をつくりあげていくことがたいせつだと思ひます。

私は給食がもつとおいしくなればいいと思ひます。

ミルクは、牛乳になつておかずはもつとおいしいものにならばいいと思ひます。

でもあまりぜいたくはできません。給食を作らないと思ひます。

おばさんたちが、少しの予算でちよつともおいしいものを作つて下さつてゐるのに、こんなことはいえな

いかもしれません。でもちよつともつと良い学校に思ひます。

まず自分の足もごから

婦人会長 田口民江

する村とともに手に手をとつて進まなければならぬと思ひます。

昨年、私たちの村に保健文化賞、婦人会には秩父

会員の宮妃殿下より表彰状を頂き感慨深い一年でした。また皆さんに今年こそはと最高の目的を樹てられましたか。

お母さんたちの歩け歩け運動一村の中を自分たちの目と足でたしかめ、そしてより健康になるため歩こう



青年団としては立派な「青年宣言」をされ、村の将来がばつと明るくなつたような感じがします。婦人会員の皆さんには、母親の立場から「青年宣言」が実行されるよう協力をし

よつとますますと思ひます。学校の設備は、だいたいととのつてゐるから理科の実験の時は、グループで実験ができるからうれしい。

ストープは、もつと早くかつつけてほしいと思ひます。

それから、ろうかを走る人が、まだまだいるからみんな一人一人がもつと気をつけたいと思ひます。

学校では、交通規則がよく守られてゐると思ひます。分団長は、交通安全の旗をもつて登校してゐるし、学校のそばのかどでは、交通当番の子がたつてゐて、みんなを交通事故から守つてくれます。このことは、いいことだから私たちが大人になるまでつづけてほしいと思ひます。それから六年生のつくえは、特に悪いからもつといいつくえにしてほしいと思ひます。

「同じ事故を」 村へうれしい贈物

今から三十九年前の十二月十六日、神土なべ地内で起きた交通事故の慰霊祭を行なわれた、当時の生存者や関係者の森藤一郎さん、磯部彦一さん（金山）伊藤宏行さんは、村内の交通事故防止に役立て、下さいと

現金一万五千元、慰霊祭を行なわれた昨年の十二月十六日の玉串料一万六千三百円を寄贈されました。

同会では、この好意をお受けして、新春早々カーブミラーを設置する費用にあてることになりました。また、全村消防団員へも、日頃の労に感謝の意味をこめて、記念品もあわせて寄贈されました。

事故防止に役立て、下さいと

親とゆっくり話をしよう

青年団長 安江啓次

私たち青年団も「池の中」の蛙」的な存在から、村の皆さんに親しまれる青年団になろうと、昨年の八月に青少年の健全育成と、明るい郷土の発展のための「青年宣言」を行なつてから、始めての新しい年を迎えました。



(写真) 青年学級のひととき—青年たちは歌い、踊り、そして話し、村の中堅層となる研修を続けている

私たちが青年団も「池の中」の蛙」的な存在から、村の皆さんに親しまれる青年団になろうと、昨年の八月に青少年の健全育成と、明るい郷土の発展のための「青年宣言」を行なつてから、始めての新しい年を迎えました。

大地にしっかりと根をはり、つて「今は苦しいが、いつの日にか必ず我が手に栄光を！」のもとに、「青年宣言」の強力な推進をします。そして、青年らしい態度で村の行政に関心をもち、常に研究、計画、実行と努力したいと思えます。私たちの背後には「〇〇の後継者」という大問題が控えていながら、何も求めようと

子や娘の悩みを聞いてあげて下さい。私たちが母や父のかくれた苦勞を知つて、いつそう、親孝行するものと確信します。「親と子の話し合う会」、あながいこゝろから、後継者対策の解決策が生まれ、青年がより以上に仕事への、生活への、ファイトがわくのではないでしょうか。

中学生としての……

東中 今井茂樹

目標を自覚

論語に「温故知新」といふ有名なことばがあります。このたつた四字の漢字の含む意味は、解釈のしかたでいくとおりもあります。

新しい年を迎えるにあたり、まずわれわれが、来るべき年に期待をかけようとするならば、今まで踏みしめ歩んだ道を反省し、更に綿密な計画を樹て、望むべきであるとも解釈できます。つまり、しいていえば昭和四十一年度におけるわれわれ中学生の生活状態と

「ほしがりません勝つまでは」「せいたくは敵だ」ということは、いまの三十ぐらいまでの人なら、だれもが、あの過去の体験として痛烈にのみがえつてくることばであり、いまの安易な生活に馴れきつて私たちにとつて、実に耳の痛いことばである。

上を見ればキリがないし下を見てもキリがない。「上を向いて歩こう」も結構だが、こと消費面に關するかがり、もつと、足もとを見つめる必要がある。上ばかり見ていると、常に不平や不満がつきまとい、経済的な不安が増すばかりである

その努力と進歩を目指したいものです。それには、どのような心がけが必要なのでしょう。それは、まず中学生として目標を自覚し、さらには協力できるような積極的な態度をとるべきだということです。

ところが、現代は自由経済が豊富になり、金さえあれば、何んでも手に入る結構？な時代である。自分の甲斐性で、何をほしがろうが、せいたくしようが勝手……他人から、とやかくいわれる筋合いはないことになる。

あれもほしい、これもほしいという欲望があるからこそ、人間は努力もし、向上するものだという論議も成り立つが、総じて消費への慾望は必要以上のムダがあり、自分の生活能力に合った範囲での自制心がない限り、真の向上発展はほめない。

とくにそのなかでも、東白川中学生であるという自覚のもとに、果して少しでも、東白川中学生であることをはつきり自覚することが大切で

しかし、いまの移り変わりのはげしい消費経済に対応して、私たちは、果してそれだけの自信や資格を持ち合わせているだろうか？

戦後二十数年、当時のひもじさや思えば、現代は將に消費天国である。足ることを知る「なら、もうこれ以上の不平や不満はないはずだ。じつと我慢して、つましい生活の中に、明日への余力を貯えたいものだ。



造業
構造
農善
改善

工事いよ急ピツチ

製茶工場など完成

新しい農業経営の夢を託が建設されることになって、昨年着工された農業構造改善事業は、新しい年に従がつて順調にすすみ、を迎えていよいよ活気に満ち、寒空の下で力強いブルドーザーのひびきとともに進められています。

第一年度事業として五加地区に、集団茶園 六、四二ヘクタール、農道約二千六百メートル、製茶工場一棟

ることでしょう。

長い間、農道がなく不便だった柏本の東地区も、二月完成を目標に農道工事がすすめられており、すでにほぼ完成した久須見地区柏本西、宮代の農道とともに地域格差を取り除き、生活や農業経営に新しい発展の可能性を生み出そうとしています。

計画面積 六、四二ヘクタールの集団茶園は、久須見、柏本地区で約 三、七ヘクタールが開くが残り、残りも近日中に終る予定で、い

ブレーキは早目に！
スピードは控え目に！

よいよ三月末から植栽がはじまり、村内にすでにある九ヶ所の茶園の仲間入りをすることになっています。農業構造改善事業は、従来ともすると一部農家のためだけのものに見られがちで、全体的な農業振興ではないと思われていましたが、村ではこの欠点をカバーして、製茶工場や農道など、地域の人がより利用できるように施設に重点をおき、第

いまさら一月十五日は

どういう日であるか註釈

する必要はあるまい。

こととして二十年目を迎

える「成人の日」である

この「成人の日」が制

定された二十三年頃は、

戦後の混乱した中で、ど

うかして明い豊かな社

成人の日を迎える人へ

電気器具は各戸に入り、車は増加の一途をたどつて一般に言う文化生活をすることができるようになった。

しかし、それは言い換えれば消費経済が異常に伸びただけで、本当の文化的生

活とはいえない。だからといって今の時代に車などのり廻したりするなどと野暮なことを言う訳ではない。車を買う位の生活力がなければこれから

二十年経つた今日、経済

は驚異的な伸びを示し、二

十年前には想像もしていな

かった生活ができるように

なつた。本村でもこの経済

成長の波にのり、テレビや

生活をするのできるよ

うになった。

しかし、それは言い換え

自分の生活をみつめて

話の横道にそれだが、成人の日を迎えるみなさんは一月十五日を契機として、

公民としての権利とそれに伴う義務を自覚するとともに

新しい成人を迎えるものも迎えられる者も心して新しい年に処してゆきたいものだ。(古田)

考えも意外に多いのではな

かろうか。

前にも書いたが、文化的

な生活とは経済的な豊かさ

のみをさすのではない。

豊かな教養、豊かな精神

が伴つてこそ

はじめて豊かな文化生活を

営んでいると

に、自分の生活をよくみ

つめ計画的な生活設計に

積極的な心がけることが

大切だ。

村では、ことし「成人

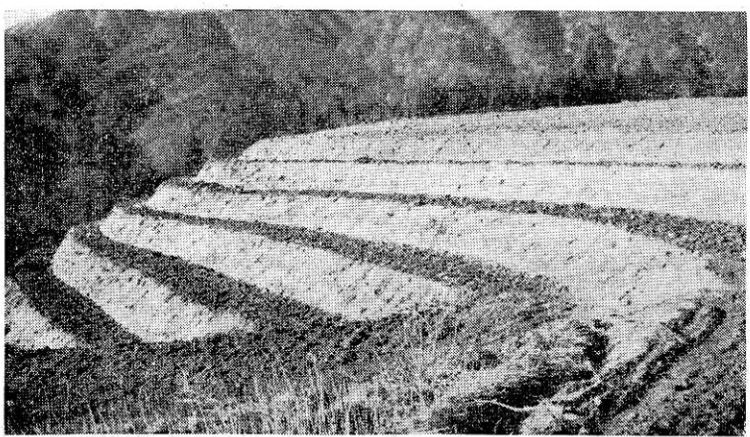
の日」を迎える二十余名

の若人におとなへの仲間

入りをしたという認識と

成人に達した報告を兼ねてこの日に伊勢神宮詣でに招くよう計画が進められて

（写真）着々進んでいる構造改善事業—久須見地内2,4haの茶園は整地もほとんど完了あとは植付けを待つばかり



農地報償の

請求を早く

農地報償の請求書の受付期間は、三月三十一日までです。まだ請求されていない該当者は、今月中に役場の産業係までおいで下さい

なお、すでに請求をされた方は、認定が少し遅れていますので、今少しお

後記

▼おめでとうござい
います。新年号を
お届けしますの
ご批評下さい。

▼もうすぐ百号、広報の模
様替えを計画しています。
よい案がありましたら、ど
しどしお寄せ下さい。皆さ
んの広報として、今年もか
んばりたいと思います。

待ち下さい。